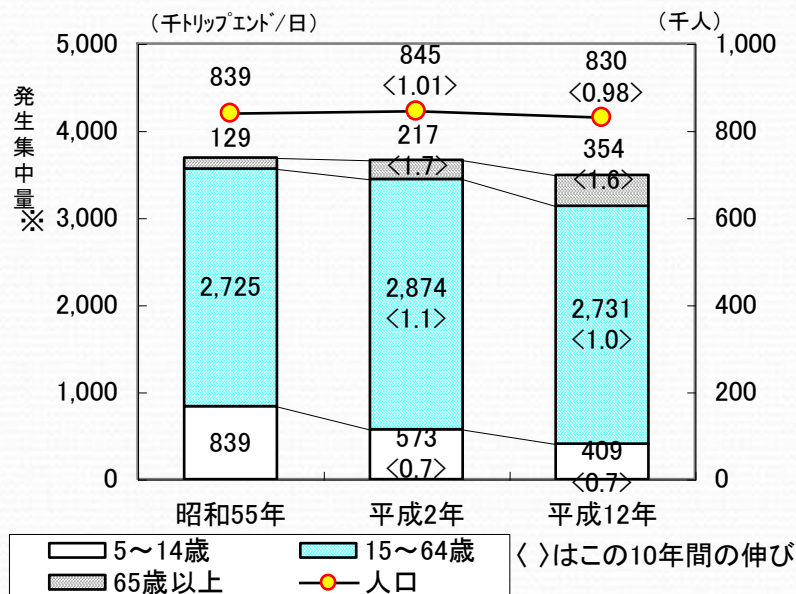


美原区における 公共交通の現状

人口の動向と人の動き

- 人口減少にともない、堺市での人の動きの総量が減少傾向の中で、高齢者の動きは増加しています。
- 通勤・業務などの移動の多くを占める、生産年齢人口の割合が減少することにより、今後も人の動きの総量は減少するものと予想されます。

※「発生集中量」は、通勤、通学、私用等の特定の目的を持って移動する人の移動量を合計した数値。



資料：京阪神都市圏パーソントリップ調査(S55,H2,H12)

図. 堺市における人の動きの総量の推移

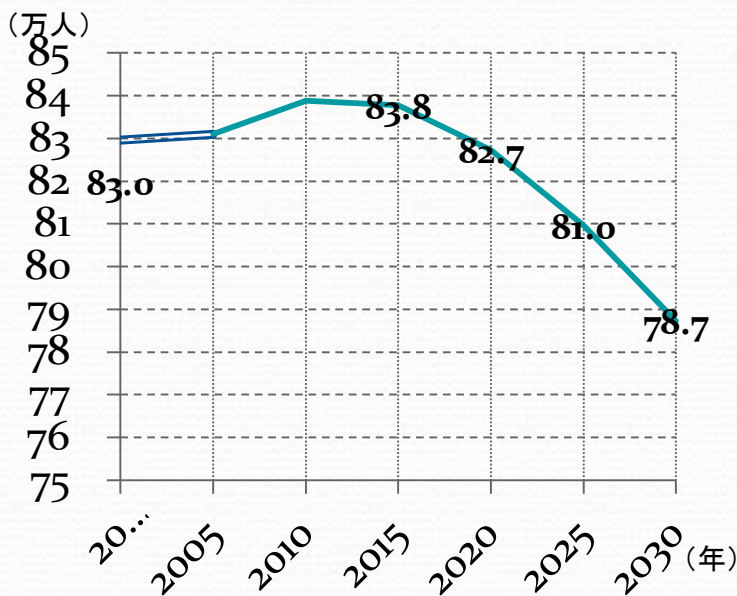


図. 堺市の将来推計人口

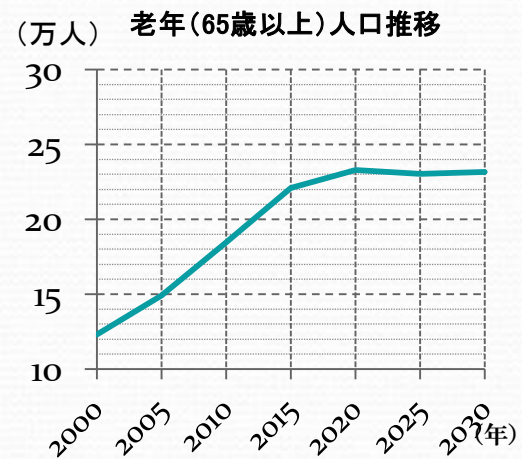
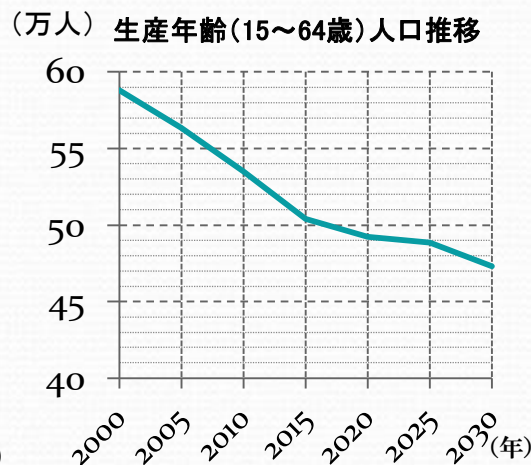
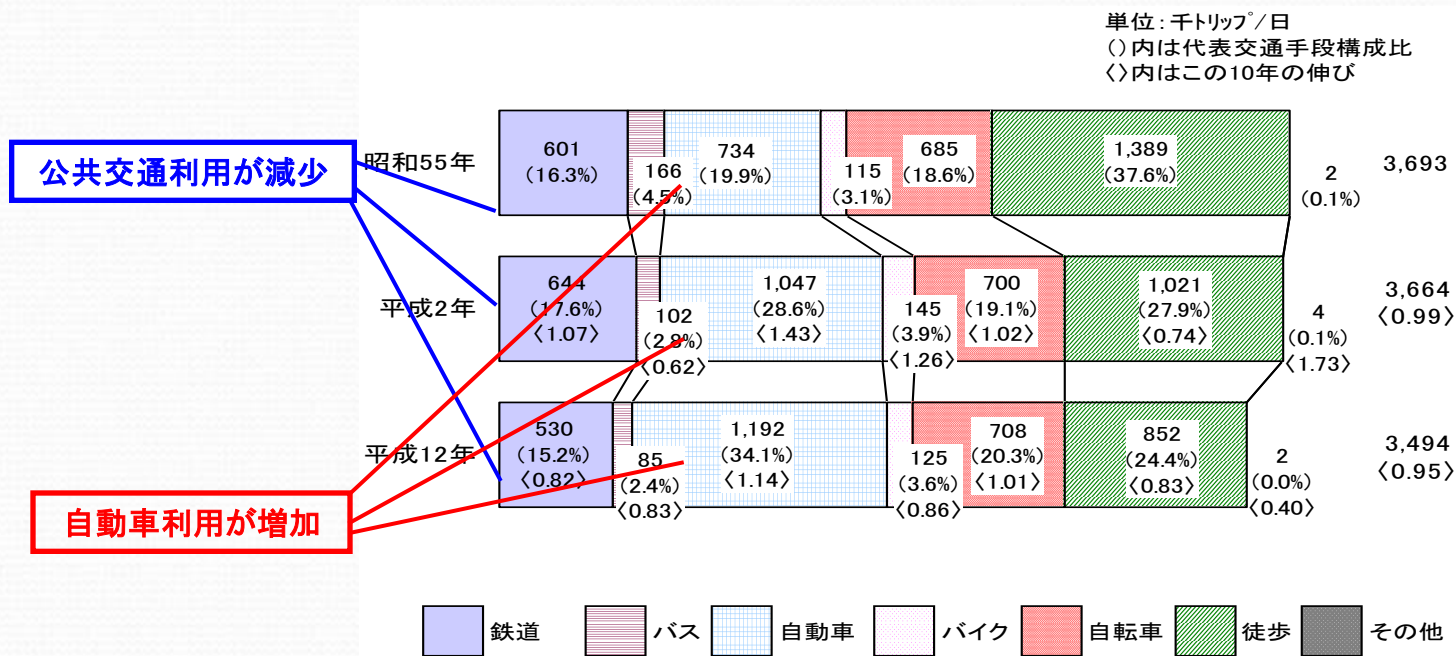


図. 堺市の年齢区分別人口推計

資料：堺市マスタープラン(H23.3)

人の動き

- 堺市に発着する移動の交通手段は、20年間で、鉄道・バス利用は2割減少、自動車は6割増加しており、自動車が鉄道・バスの倍近い利用状況にあります。
- 特にバス利用の減少が著しく、半減しています。



資料：京阪神都市圏パーソントリップ調査(S55,H2,H12)

図. 堺市における交通手段の利用状況

美原区における人の動き

7区の中で鉄道・徒歩利用は最も低く、自動車・バイク利用は最も高い

- 鉄道・バス利用をあわせて約1割の利用となっています。
- バス利用は市平均と比べて低くなっています。
- 自動車利用は半数近く占めており、5～10kmの移動によく利用されています。

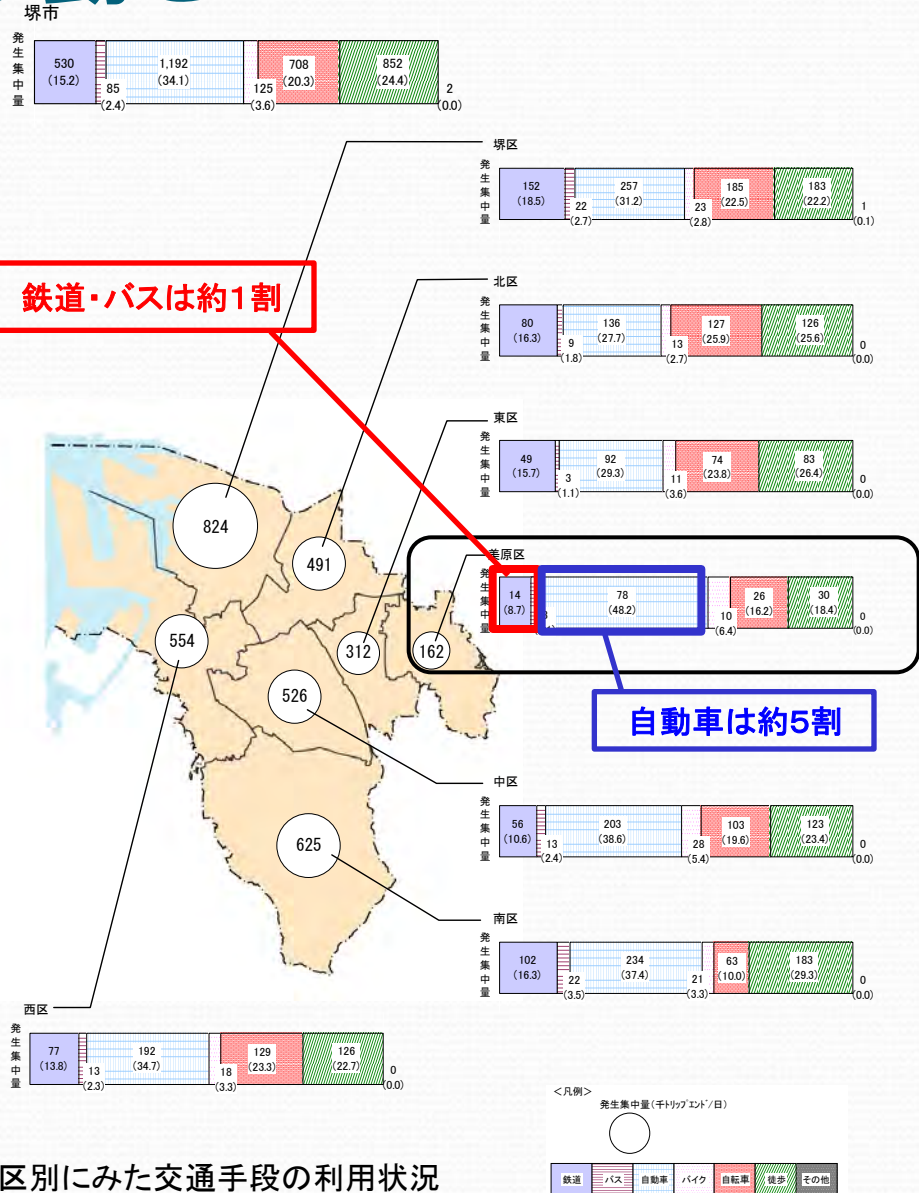
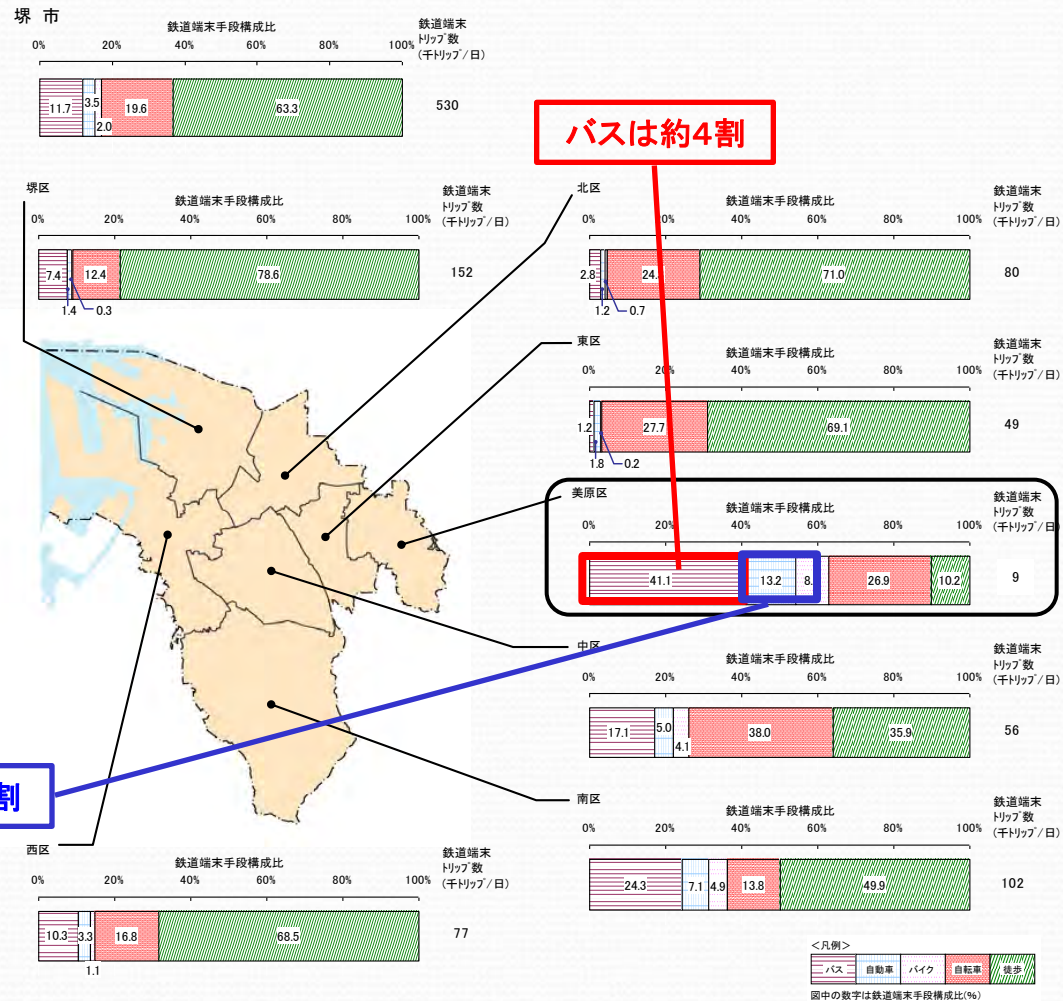


図. 区別にみた交通手段の利用状況

美原区における人の動き

鉄道駅までの交通手段は、7区の中でバス・自動車・バイク利用は最も高く、徒歩は最も低い

- 鉄道を利用する人のバス利用は非常に高く、市平均の約3倍となっています。
- 自動車・バイクの利用も高く、市平均の約4倍となっています。
- 一方、徒歩の割合は低くなっています。



自動車・バイクは約2割

バスは約4割

資料: 京阪神都市圏パーソントリップ調査(H12)

図. 区別にみた鉄道駅までの交通手段の利用状況